

令和3年度岐阜県古文書読解講習会の状況(前半)

今年度はコロナ禍での開催となり、各会場の定員数を削減、開始時間の変更、講座時間の短縮、会場での受講者同士のソーシャルディスタンス、飛沫防止のアクリル板の設置など、コロナウイルス感染防止対策に努めました。

県の緊急事態宣言により、8月の岐阜会場・西濃会場・中級会場の開催が延期となり、11月・12月に実施予定となっています。

以下に、飛騨会場・東濃会場・中濃会場の講座の様子の写真と、参加者の主な感想や意見を記します。

<各会場の様子>

■飛騨入門・初級会場(飛騨総合庁舎) 7月22日(木)・23日(金) 40名参加



22日 本永義博講師の講座の様子



22日 堀 祥岳講師の講座の様子



23日 北野興策講師の講座の様子



23日 福井重治講師の講座の様子

■東濃入門・初級会場(瑞浪市総合文化センター) 7月29日(木)・30日(金) 50名参加



29日 蓑島一美講師の講座の様子



29日 加藤宣義講師の講座の様子



30日 可児光生講師の講座の様子



30日 岩井美和講師の講座の様子

■中濃入門・初級会場(可茂総合庁舎) 8月9日(月)・10日(火) 55名参加



9日 高木敏彦講師の講座の様子



9日 大海崇代講師の講座の様子



10日 鈴木重喜講師の講座の様子



10日 古田憲司講師の講座の様子

＜参加者の主な感想・意見 一事後アンケートより＞

■飛騨入門・初級会場

- ・講習資料の選定や補助資料の作成等御苦労に感謝いたしております。毎回楽しく受講しております。
- ・普段より時間が短かったため、内容的な解説がいつもより薄かったように感じました。
- ・私には「古文書読解」という目的にはまだまだほど遠いですが、学校や地域で習わなかった身近な地域の歴史を知ることが出来て興味深く楽しいです。
- ・時間が短くなった分、古文書の読み方の解説が略されてしまい、付いていくのが大変だった。
- ・条件の悪い中、講習会を開いていただきありがとうございました。出来れば、元のような形で開いていただけたらありがたいです。

■東濃入門・初級会場

- ・毎年楽しみに受講させて頂いています。来年こそはコロナ禍にて受講数が減らないことを祈っています。
- ・開催時間について→今後どの会場にも出席できるようになるとすれば、今回のように開始時間が遅い方が、遠くても参加しやすいように思います。
- ・全文読み切らなくても、途中まで詳しくしたらどうか。後は解説集で。
- ・講義を聞く一方だと、眠くなることもあるので、折に触れて書いたり、考えたり、調べたり、発声したりという具合に変化をつけて頂けるとありがたいと思います。
- ・毎年参加させて頂いております。感謝です。
- ・半日で済むので、この方が良い。昼御飯の心配をしなくてすむ。100 分間は適当でいい。前は長過ぎた。

■中濃入門・初級会場

- ・もともと歴史に興味というより、草書、変体仮名を解読できるようになりたいというのが動機なので、解読に重きを置いていただくと個人的には嬉しいです。
- ・史料集、解読集、毎回立派な内容に感心しています。
- ・初めて講習会に参加させて頂きました。入門、初級コースということで、わかりやすく教えていただいて少し理解出来ました。基本的な事がわかったので、これから少しずつ勉強していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・コロナ禍に開催して頂き有り難うございました。色々な文書に出会えて楽しかったです。他会場にも興味のある資料が出され、直に受講してみたかったです。
- ・今後の対応はコロナ対応上、やむをえない事と思いますが、やはり例年のような午前、午後一講師ずつが望ましいと思います。
- ・マスクを着けての話し声が聞きづらい。マイクの入りが少し悪く、聞きにくい。